

2022年11月27日(日) 狭山キリストの教会 礼拝説教

テキスト：ヨブ記 36章1節～21節

タイトル：一エリフの弁論④—「苦難の意味とは？」

36章と37章はエリフの第四回の弁論として一続きになっている。内容的には、36:2-4の導入的部分の後、36章5-21と36:22-37:24との二つに区分的に分けることができる。前者は高ぶりの罪を主題とし、人が神にそれを教えられるとき従順になるべきであるとの勧告を含み、後者は、この神の力と恵みが自然を通して示されている。(新聖書注解 ヨブ記 p. 118)

神の代弁者を自称するエリフ (1～4節)

ヨブ記 36:4 まことにわたしの言葉は偽らない。知識の全き者があなたと共にいる。(口語訳)

エリフは神の判断と行為に関する自らの「知識」は完全だと誇る。

(並木浩一著 「ヨブ記注解」 p. 372)

神は義人と悪人とを区別して報いる (5～14節)

神は、試練・苦しみを通してその人の罪を示される。

ヨブ記 36:8 捕われの身となって足枷をはめられ苦悩の縄に縛られている人があれば 9 その行いを指摘し その罪の重さを指し示される。10 その耳を開いて戒め、悪い行いを改めるように諭される。(新共同訳)

二者択一：苦難を受容し救われるか、神を訴え滅びるか？

ヨブ記 36:11 もし彼らが聞き入れて神に仕えるなら、彼らは自分の日々を幸せのうちに、自分の年々を楽しみのうちに全うする。12 しかし、もし聞き入れなければ、彼らは槍によって滅び、知識のないまま息絶える。

13 神を無視する心を持つ者は鎖につながれていても怒りに燃え、助けを求めようとしない。14 彼らの魂は若いうちに死を迎え 命は神殿男娼のように短い。(新共同訳)

苦難の_____的意義

ヨブ記 36:15 神は苦しむ者をその苦しみによって救い、彼らの耳を逆境によって開かれる。(口語訳)

「悩み」と「しいたげ」はマイナスの意味しか持たないのではなく、それによって人は神の声を聞くように導かれる。(新聖書注解 ヨブ記 p. 118)

ヨブ記 36:18 だから注意せよ 富の力に惑わされないように。身代金が十分あるからといって 道を誤らないように。19 苦難を経なければ、どんなに叫んでも力を尽くしても、それは役に立たない。(新共同訳)

ヨブ記 36:20 人々が取り去られる夜を、あえぎ求めてはならない。21 不法に向かわないように注意せよ。あなたは苦しみよりも、これを選んだのだから。

【まとめ】

- 痛みは、私たちの心を神に向かわせる。

詩篇 119:71 苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。

ヘブル書 12:5 また、子供たちに対するようにあなたがたに話されている次の勧告を忘れていません。「わが子よ、主の鍛錬を軽んじてはいけません。主から懲らしめられても、／力を落としてはいけない。6 なぜなら、主は愛する者を鍛え、／子として受け入れる者を皆、／鞭打たれるからである。」(新共同訳)

私たちが「何故」と聞くのを止めて、「何処へ」と聞き始めたとき、苦しみは恵みになる。(篠崎キリスト教会)

苦しみの意味付け (苦難の意味)

1. _____の結果としての苦しみ

2. _____ための苦しみ

3. _____としての苦しみ

- 「それでも神を信じるか？」理不尽な出来事の中でも、神の最善を信じ続けるか？
- ヨブの苦しみはこれに該当する。
 - Cf. ヨブの試練：ヨブ記 1:8-12
 - Cf. アブラハムの受けた試練：創世記 22:1-2, 12

4. _____のために自ら負う苦しみ。

イザヤ書 53:4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。